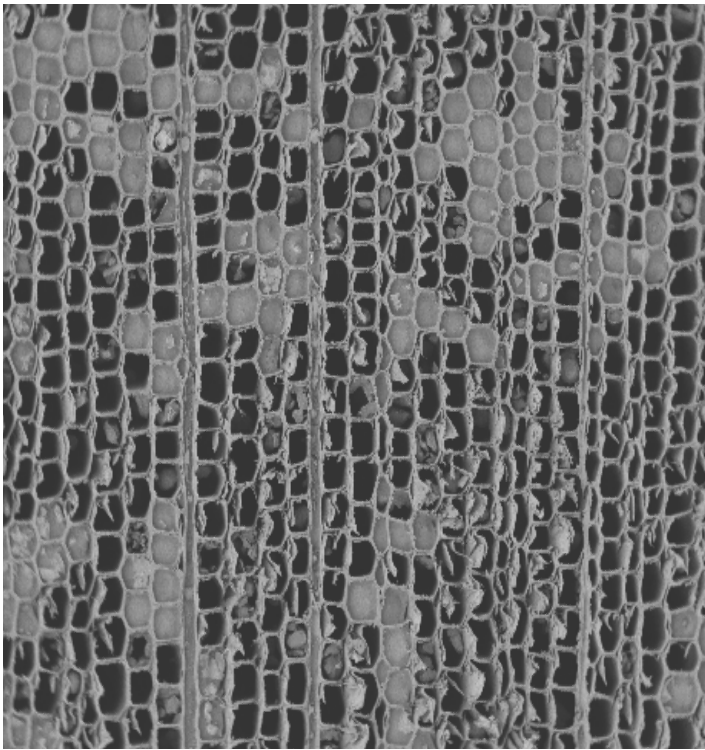


# 日本木材学会 組織と材質研究会

## 2010秋のシンポジウム –心材の形成–



9/13(月) 12時半開場

・1300-1305 挨拶 森林総研関西 藤井 智之  
イントロダクション

・1305-1330 心材の多様性と心材形成をめぐる謎 森林総研林育セ 中田 了五

第一部 心材形成の四要素 座長：東京農工大学 船田 良

・1330-1430 放射線細胞の細胞死 東京農工大学 半 智史

・1430-1530 心材成分の堆積 名古屋大学 今井 貴規

・1545-1645 水分状態の変化 九州大学 松村 順司

・1645-1745 細胞壁の二次的な構造変化 北海道大学 佐野 雄三

9/14(火) 8時半開場

第二部 心材形成に挑む多様な研究 座長：京都大学 高部 圭司

・0900-0945 TOF-SIMSの心材形成研究への導入 名古屋大学 福島 和彦・齋藤 香織

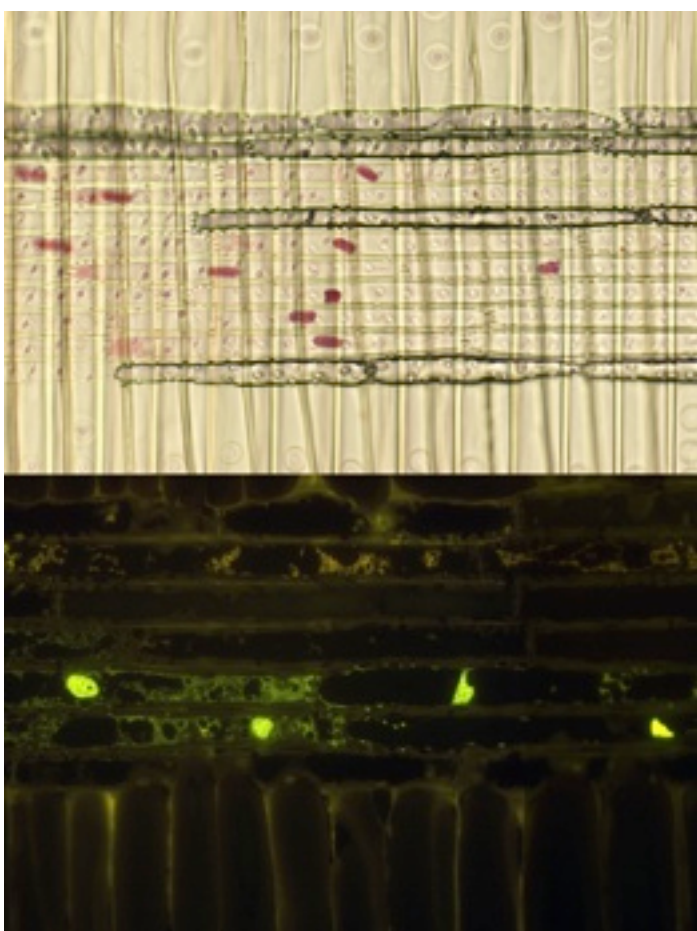
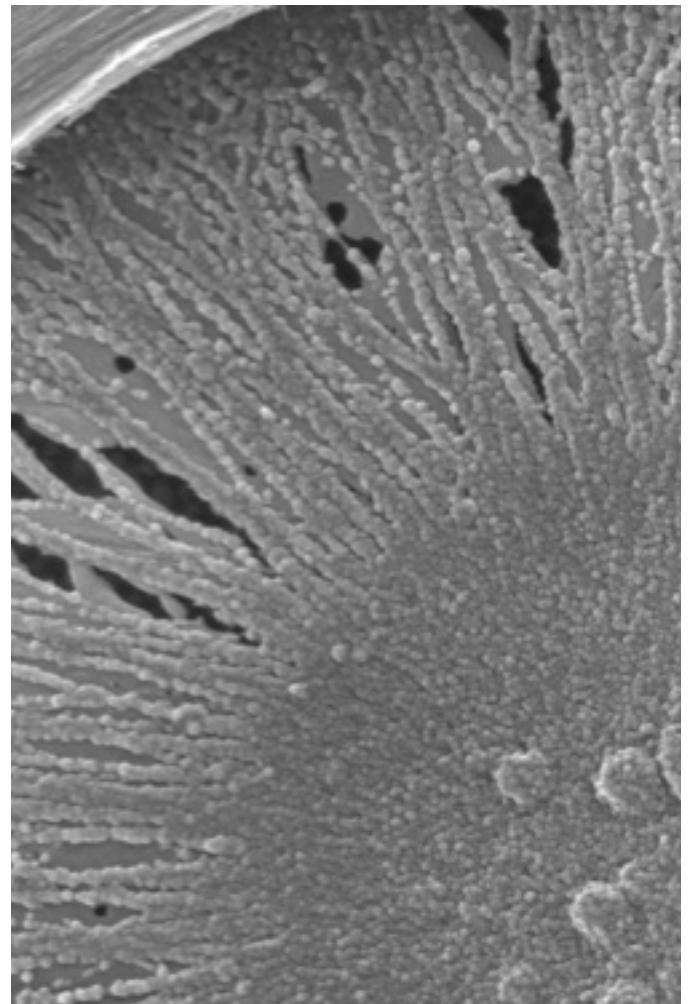
・0945-1030 Cryo-SEM とTOF-SIMSでみた心材形成 森林総研 黒田 克史

・1045-1130 心材成分生成および心材形成に伴う遺伝子の発現 森林総研 吉田 和正

・1130-1215 心材形成研究を進展させる新顕微鏡法 森林総研 松永 浩史

・1215-1220 クローズングリマーク 名古屋大学 山本 浩之

懇親会：13日シンポジウム終了後 会場向かい、レストラン花の木



日本木材学会 組織と材質研究会

2010秋のシンポジウム –心材の形成–

2010年9月13日(月)–14日(火)

名古屋大学東山キャンパス環境総合館レクチャーホール

樹木特有の現象である心材の形成は、高い耐朽性と美しい色を木材に与えます。心材の性質とその形成については、木材利用上の重要性が高いこともあり古くから研究が行われてきました。しかし、種間および種内個体間で心材の色や量が大きく異なるように、心材の形成は多様性に富んでいます。さらに、樹幹の奥深くで進行する現象であることもあって、心材の形成については多くの謎があります。本シンポジウムでは、第一線の研究者に心材形成に関する多様な研究成果を紹介いただき、心材の形成についてわかっていることを整理し、わかっていないことを明らかにします。本シンポジウムを今後の心材形成研究の方向性を探る契機としたいと思います。

心材の形成に関心のある方はもちろん、多くの木材科学者の参加をお待ちします。

企画担当：森林総研林育セ 中田了五、名古屋大学 今井貴規

参加希望の方は下記までお申し込みください。

問い合わせ・申し込み：(森林総研林育セ) 中田了五 Email. ryogo@affrc.go.jp